

クラブ員の大会参加記録(2012年7月)

6月30日	竹中記念スプリント
YO	
20	山本 保 0:29:30



6月30日	さくらんぼ大会ミドル1
M65A (2.8km ↑105m)	12P
2	久保井輝政 1:00:43
W50A (2.1km ↑55m)	
2	高橋 明美 0:36:30

ゲレンデがトレインなので見通しが良かったはずなのに、2番から4番に行ってしまう3番4番を行ったり来たりしたので時間がかかってしまいました。(高橋)

1番はスタートから小道を60mほど直進し、植生界に当たったら北北東に30mほど先の沢、沢はすぐ見つけたが、どうも侵入方向が少し左にずれたようでポスト見つからず、植生界まで戻る途中でポスト発見(約3分程度ロス)、4番はポストより20m付近まで行っていたが、見当たらず現在地確認のため後方の建物との関係を2~3度確認、合っているもう少し先かなと進んで見たら、ポストが地表に横たわっていた(90秒程度ロス)、全体的に足が重くスピードが上がらないこともあり、のんびりと競技してすっかり競技時間(60分)を忘れ43秒タイムオーバーで失格となってしまった。(久保井)



6月30日	さくらんぼ大会スプリント
M (1.5km ↑46m)	11P
16	久保井輝政 0:31:44
S (1.3km ↑15m)	
12	高橋 明美 0:27:25

沼を1周するコースでした。5番から6番に行く途中藪に入り込んでしまい現在地を見失いましたが、崖を見つけ何とか先に進むことができました。

(高橋)

スプリントはモデルイベントと同じ場所(湖周辺)で行われるとの事で、モデルコースに行った人の話で、地図上の薄グリーンでも藪がきつく通行可能性はあまり良くないと聞いていたので、薄グリーン状態(Mコースでは6~7番へ)の場合は、道走りに切替える予定でいたが同一コースの方と会い、つられて薄グリーンを直進(約200m、6'28")道走りにすれば3分程度で?

湖の周回コースで気持ち良く楽しめました。

(久保井)



6月30日 さくらんぼ大会ナイト O
M1 (1.6km ↑93m) 14P
37 久保井輝政 0:30:40
40 高橋 明美 0:32:34

久しぶりのナイトなのでけがをしないようにと慎重になりましたが、方向を2度間違え、草に隠れていた側溝に1回落ちてしまいました。昼間の疲れもありほとんど歩き状態で体力の無さを痛感した1日でした。(高橋)

今年のスタートは、時間・氏名の呼び出しを行っていたが、めちゃくちゃでどのタイミングでスタートすべきか全く混乱状態でスタート

(私は正規スタート+2分経過後あたりで)

今年の反省か、今年はスタート業務(30秒間隔)うまく運営されており気持ち良くスタート。競技内容としては側溝に一回踏み入れ以外は、小走り&歩きの繰り返しでゆっくりナイト競技を楽しみました。(久保井)



🍒 全体的な感想 🍒

1度は参加してみたかったさくらんぼ大会。今回やっと念願がかないました。スキーでは行ったことのある蔵王温泉ですが、スキー場周辺を上手に使いながら1日に何度も大会が楽しめたのはとても魅力的でした。(高橋)

7月1日 さくらんぼ大会ミドル2
M65A (1.7km ↑100m) 9P
2 久保井輝政 0:30:24
W50A (1.5km ↑100m)
1 高橋 明美 0:33:35

ゴンドラでスタート地点まで行くのがとても新鮮でした。ゲレンデの中に点在している林の中にポストがあるので比較的分かりやすく走力が重要でしたが、昨日側溝に落ちた時痛めた左足が痛く、思うように走れませんでした。(高橋)

前半の500mが上り、後半1000mはダウンヒル気味に下りのコース設定、1番までは道走り約250m後スキー場内コースに入り100m程度で1番に。2~3番、5~6番は一方向に走れる林の中のポスト、どちらも直進しポストチェック、結果下草等がきつく時間がかかってしまった、一度林から脱出し再アタックの方がタイム良かったみたい。後半は下りなので楽に走れるはずだが、足元が不安でゆっくりしか進めず残念。(久保井)

7月8日 霧ヶ峰ロゲイニング2012
5時間混合
3 チーム遠足 1679点
(渡辺達也、大澤貴子)
5時間男子
17 サン・スーシ 1066点
(長谷川照恭、飯島誠)



7月14日 長野県 OL 大会

M40 (3.5km ↑195m)

11 石川 昌 0:58:20

15 大場 隆夫 1:01:28

前日の雨もあがって OL 日和になりました。ここは2回目ですが、標高 1800m の会場がテレインの最上部にあるので、前半の下りは走れても、後半は登りでほとんど歩きになってしまいました。

「迷宮の森」にも、伐採が入って見通しがよくなり、遠くからコントロールが見えたりして以前より簡単になったようです。それでも直進を楽しむことができました。アブが多く、7 か所も刺されてしまい、治るまでに 1 週間かかりました。石川さん、運営ありがとうございました。(大場)



今回は、運営兼選手でスタート担当としてほとんどの選手を送り出してからのスタートでした。

前回、このテラインで捻挫をして痛い思いをしているので、しっかりテーピングをしてスタート。スタート直後にケアレスミス（整置ができておらず、単純な道間違え約 1 分半）をした以外は大きなミスなく完走できました。

前半は足場が悪く、なかなかスピードがあげられず、後半は登りでとてもつらく、トレーニングしたわりには成果が上がらなかったと思っていました。しかし Lap センターの結果をみると、後半の登りのタイムが良くミスがマイナスで出ていました。ほかの選手も登りはつらかったようです。最近のトレーニングの成果を確認できた良いレースでした。(石川)

7月15日 OS 定例会

MEC (3.2km ↑280m)

3 纓坂 尚 0:59:44

赤根ヶ峠での小さな大会に参加しました。コースの前半は、典型的な尾根迫りのレグと、急斜面をきちっと直進するレグが交互に続きました。暑さも加わり、かなりタフな展開でしたが、反面予想されていた展開でもあったので、じっくり地図を読んで進み、ミスはほぼなし。コース後半は前半に比べればきれいなどところを通して来て、さわやかに走れました。ただ最終盤の道走りで基本がおろそかになり、アタックでミスし、+3分。もう少し基本的な地図読みを勉強しなさいといけないと思いました。

7月29日 東大 OLK 夏場所 2 日目

Long (3.7km ↑285m)

纓坂 尚 P1

関東近郊のベストセラーマップ、二つ塚峠での練習会に参加しました。結果としてのペナも残念ですが、レース内容もいまひとつでした。ただ、コースそのものは面白かったです。見た目は B やぶ、C やぶ主体のちょっと汚い感じの印象ですが、走ってみると案外きれいに通れるところばかりでした。しっかり地形を読まなければいけないショートレグと、ルートチョイスのあるロングレグのコンビネーションが面白いコースでした。もう少し技術力をつけて、またチャレンジしてみたいと思わせるコースでした。

編集後記

近年、夏になるとトレーニング量が落ち、それが秋になっても影響していましたが、暑さに負けずに大会参加されている皆様の様子に刺激を受け、昨夏以上のトレーニングができています。全日本大会のコメントで「トレーニング量を増やしていこう」という決意を書いてしまったことも、良い方向に作用してしまいます。(和田)